News Release　阪急阪神ホテルズ

報道機関各位
ニュースリリース

2026年11月5日
株式会社阪急阪神ホテルズ
No. 26-04

里親制度の普及や子ども支援活動に取り組むNPO法人にクリスマス期間の収益の一部を寄付

「クリスマスチャリティー」を今年も実施します

～首都圏・関西圏の直営16ホテルにて12月24日（木）・25日（金）に実施～

株式会社阪急阪神ホテルズ（本社：大阪市福島区 代表取締役社長：小泉（こいずみ） 秀俊（ひでとし））は、直営16ホテルにおいて、12月24日（木）・25日（金）の2日間の収益の一部を、里親制度の普及や子ども支援活動を行う「認定NPO法人 日本こども支援協会」へ寄付するクリスマスチャリティーを実施します。

本チャリティーでは、期間中にご宿泊、またはレストランの対象メニューをご注文されたお客様1名様につき20円を当社が寄付します。さらに、阪急阪神ホールディングスグループが取り組む社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ･まちプロジェクト」※1からも同額を上乗せし、合計で40円が寄付されます。

クリスマスという子どもたちにとって特別な日に、子どもたちへの支援につながる社会貢献をお客様とともに実現したいという想いから「クリスマスチャリティー」を実施しており、2022年の第一ホテル東京でのチャリティー活動に始まり、今年で5年目となります。これまでの活動を通じて、当社は1,231,839円を寄付してきました。





当社では、「クリスマスチャリティー」のほかにも、「豊かなまちづくり」をテーマにした取組として、神戸市にある小児がんや難病のお子さんとその家族のための滞在施設を運営する「公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金」※2や小児病棟に臨床道化師（クリニクラウン）を派遣する活動を行う「NPO法人日本クリニクラウン協会」※3への寄付付き宿泊プランの販売を行っております。また、当社の従業員が身近に参加できる取組として、従業員スペースでの寄付付き自動販売機の導入に加え、貧困家庭であることにより、学び・就職の機会に格差が生まれる状況にある中・高校生の支援につながる「従業員食堂での寄付活動」や、国内だけでなく国外の子どもたちへの支援として「ベルマーク回収活動」を新たに開始しました。今後も、これらの活動・支援を通じて、子どもたちの未来を応援してまいります。クリスマスチャリティーや当社での取組の詳細は次頁以降をご覧ください。

【リリース同時配付先】国土交通記者会、大阪商工記者会、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブほか

この件についてのお問い合わせは
阪急阪神ホテルズ　広報担当：髙田（たかだ）・田中（たなか）
TEL：06-6377-5743　FAX：06-6486-3322
e-mail：pr@hankyu-hanshin-hotels.com

＜概　要＞

・対　　象　宿　　泊

12 月 24 日（木）・25 日（金）に次の 16 ホテルにてご宿泊のお客様
第一ホテル東京、レムプラス銀座、レム東京京橋、レム日比谷、レム秋葉原、レム六本木、
京都新阪急ホテル、ホテル阪急インターナショナル、ホテル阪急グランレスパイア大阪、
ホテル阪急レスパイア大阪、新阪急ホテルアネックス、ホテル阪神大阪、
ホテル阪神アネックス大阪、レム新大阪、宝塚ホテル、レムプラス神戸三宮

レストラン　※対象メニュー等の詳細は特設サイトをご覧ください。

12 月 24 日（木）・25 日（金）に次のレストランで対象メニューをご注文されたお客様
第一ホテル東京「エトワール」「アンシャンテ」「一徹」
ホテル阪急インターナショナル「ナイト&デイ」「マルメゾン」「ちゃやまち」
ホテル阪急レスパイア大阪「グリリアート クオッカ」
ホテル阪神大阪「ネン」「ロイン」　／　宝塚ホテル「アンサンブル」「風雅」
京都新阪急ホテル「ブールヴァール」「ロイン」

・特設サイト　https://www.hankyu-hotel.com/group/campaign/christmascharity2026

・寄 付 先　「認定 NPO 法人 日本こども支援協会」

【2025 年度の寄付実績】

寄付額：331,880 円　※「阪急阪神 未来のゆめ･まちプロジェクト」からの上乗せ寄付額は含まない

「認定 NPO 法人 日本こども支援協会」を通じて、日本最大のオンラインコミュニティ「ONE LOVE」の運営をはじめ、里親制度の普及啓発や、里親家庭への相談・支援など里親支援事業で活用されました。

■ 「認定 NPO 法人 日本こども支援協会」とは

「すべての子どもに、家庭を。」を目指す NPO 法人。養育里親として
大変な経験をしてきた代表が、“里親を支え、安心して子どもを育てられる
環境をつくりたい”という思いから設立しました。
里親家庭を増やし、サポートする活動を通じ、すべての子どもが日々の
暮らしの中で愛情を感じて育つ社会を目指しています。



※1「阪急阪神 未来のゆめ･まちプロジェクト」とは、「未来にわたり住みたいまち」をつくりたいという想いに共感する、まちに関わるさまざまな人々と協働しながら、阪急阪神ホールディングスグループを挙げて社会貢献活動を推進するプロジェクト。（前ページ右図：シンボルマーク）

※2 チャイルド・ケモ・ハウス（公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金）とは
兵庫県神戸市ポートアイランドにあり、全国から近隣の高度医療機関に治療を受けに来られる、小児がんや難病のお子さんとそのご家族のための滞在施設です。長期にわたる入院中も、一日でも多く家族一緒に家のような環境で過ごせるようにという思いから、チャイルド・ケモ・ハウスには家のように料理できるキッチン、リラックスして入れるお風呂、疲れた時にごろごろできる場所、つらい時に泣くことができる場所、きょうだいと遊べる場所があります。

※3 日本クリニクラウン協会（NPO 法人 日本クリニクラウン協会）とは、「すべてのこどもにこども時間を」を合言葉に赤い鼻がトレードマークのクリニクラウン（臨床道化師）を小児病棟に派遣。入院しているこどもたちが、こども本来の生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境をつくるために 2005 年から活動しています。

■ 認定 NPO 法人 日本こども支援協会　代表理事・岩朝しのぶ様コメント

いつも温かい支援を賜り、本当にありがとうございます。
皆さまのお力添えが、子どもの人生、未来を支える大きな力となっています。
すべての子どもに、家庭を。子どもが安心して家庭で過ごせるよう
里親制度の普及啓発と全国の里親家庭の支援を、全力で頑張ってまいります。



■ 阪急阪神ホテルズ 運営管理本部・中平千尋コメント

今年で 5 回目を迎えるクリスマスチャリティーは、ホテルをご利用くださる
お客様とともに、子どもたちの明るい未来を育み、健やかな成長への支援を
届けることを目的としています。皆さまからいただく温かいお気持ちが、
支援を必要としている子どもたちの笑顔と希望につながると願い、これからも
この活動を継続して社会貢献の輪を広げていくよう努めてまいります。



ご参考

阪急阪神ホテルズが取り組む SDGs について

阪急阪神ホテルズでは、「安全・安心の追求」「豊かなまちづくり」「未来へつながる暮らしの提案」「一人ひとりの活躍」「環境保全の推進」「ガバナンスの充実」を 6 つの重要なテーマとして掲げ、さまざまな活動を通して課題解決に取り組んでいます。

詳細はこちら　https://www.hankyu-hotel.com/sustainability

「豊かなまちづくり」

阪急阪神ホテルズでは、地域社会との連携を広げ、人々がいきいきと集い・働き・住み続けたくなるまちづくりに貢献します。

【その他の取り組み】

➢ 寄付付き宿泊プラン販売

お客様のご宿泊代の一部（1 名様につき 500 円）に阪急阪神ホールディングスグループで推進する社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ･まちプロジェクト」から同額を上乗せし、合計で 1,000 円寄付しています。


フロントにも募金箱を設置

・「チャイルド・ケモ・ハウス応援プラン」
京都新阪急ホテル、ホテル阪急インターナショナル、
ホテル阪急グランレスパイア大阪、ホテル阪急レスパイア大阪、
新阪急ホテルアネックス、ホテル阪神大阪、ホテル阪神アネックス大阪、宝塚ホテル

・「日本クリニクラウン協会応援プラン」
第一ホテル東京、レムプラス銀座、レム東京京橋、レム日比谷、レム秋葉原、
レム六本木、レム新大阪、レムプラス神戸三宮

➢ チャイルド・ケモ・ハウスへの食事支援

阪急阪神ホテルズが運営する宝塚ホテルでは 2022 年より毎年 3 回、「チャイルド・ケモ・ハウス」へのサポートとしてホテルの料理を施設で楽しんでいただけるようお弁当を提供しています。




➢ 寄付付き自動販売機の導入

当社の従業員が使用する休憩スペース等に設置した自動販売機の商品のうち特定の商品を購入することで、誰でも簡単に寄付することができる環境を整えました。集められた寄付金は、子どもたちのために活動をされている団体に役立てられています。（2025 年度の寄付額：302,130 円）



➢ ペットボトルキャップ回収運動で子どもたちにワクチンを寄贈

2020 年より全従業員が身近に参加できるペットボトルキャップの回収運動を実施。リサイクル業者を通じて、定期的に回収されたキャップの代金を「NPO 法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」へ寄付しています。



➢ 従業員食堂での寄付活動

当社の従業員が使用できる従業員食堂で「寄付対象メニュー」を選択することで、1 食につき 10 円を困難な状況にある中高生への経済的・精神的自立の支援に取り組む団体に寄付しています。

※画像は全てイメージです。

以上